

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2015.2.

No.9

県立尼崎総合医療センター(仮称)

だより

[各科紹介]

血液・腫瘍内科
皮膚科／形成外科

新病院に向けてリレーメッセージ

臨床検査部 検査技師長から

ニュース

病院生活から、
住み慣れた地域での生活へ
かかりつけ医をお持ちですか？



弥生時代の暮らしをうかがわせる田能遺跡
(尼崎市)



 兵庫県立尼崎病院

 兵庫県立塚口病院



血液・腫瘍内科

高度・専門的な血液診療を患者様とともに

血液・腫瘍内科は貧血、多血をはじめとする血液の多い少ないといった病気の診断と治療、および血液がんの診療を主にしています。

専門の病院が少ない血液・腫瘍内科ですが、阪神地区の拠点病院のひとつ、また京都大学医学部附属病院血液・腫瘍内科関連病院のひとつとして近隣の先生方より多数患者様をご紹介いただいております。



県立塚口病院 副院長、血液・腫瘍内科部長・科長

永井 朝子

日本血液学会血液専門医
日本内科学会認定総合内科認定医・指導医
日本感染症学会認定ICD
近畿血液学会評議員



県立尼崎病院 部長(化学療法担当)、血液・腫瘍内科部長・科長

林 孝昌

日本血液学会血液専門医・指導医
日本輸血細胞治療学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構
暫定教育医・認定医
日本造血細胞移植学会
造血細胞移植認定医



血液・腫瘍内科の紹介

赤血球、白血球、血小板等の血球成分や血液凝固因子などの量的異常を来す疾患の診断、治療並びに血液がんの診療を行っています。

当院は、阪神地区の拠点病院の一つ、また、京都大学医学部附属病院血液・腫瘍内科関連病院の一つとして、多数の患者さまをご紹介頂き化学療法・造血幹細胞移植等適切な高度専門医療を提供しています。

対象とする疾患

1) 貧血、血小板減少症:

貧血では息切れ、血小板減少症では血が止まりにくくなります。

2) 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群:

いわゆる“血液のがん”です。新規抗がん剤を含む化学療法とともに、自家および血縁者間同種造血幹細胞移植を積極的に行っています。新病院では治療中の感染予防に必要な無菌室が12床に増えます。

3) 後天性免疫不全症候群(エイズ・HIV感染):

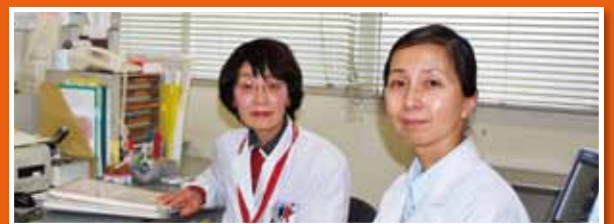
当院はAIDS拠点病院です。

4) 原発不明がん:

専門診療科が決められない、どこから発生したのかわからない“原発巣の不明がん”の診療を当科が担当致します。



左から：渡邊光正医長、林 孝昌科長、為金 現部長



左から：永井朝子科長、田端理英部長

皮膚科

地域の医療機関と連携し、急性、難治、重症疾患に対応する皮膚科

高齢化とともに、皮膚がん、糖尿病や閉塞性動脈硬化症に伴う下肢潰瘍、重症皮膚感染症、水疱症、重症薬疹など、重症、急性期の皮膚疾患が増加しています。当科では注射、入院治療や他科との連携に重点を置いて診療しています。また、病理検査(皮膚生検)をはじめ、採血、細菌、放射線などの検査を積極的に行っています。状態が安定すれば、お近くで治療を継続できるよう、地域医療機関にご紹介しています。

県立尼崎病院 皮膚科科長

工藤 比等志

京都大学医学博士
京都大学臨床教授
日本皮膚科学会専門医
兵庫県皮膚科医会幹



対象となる主な疾患

- 皮膚腫瘍(良性および悪性(皮膚がん))
- 皮膚潰瘍(治りにくい)
- 湿疹、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎
- 自己免疫疾患(膠原病、水疱症、脱毛症)
- 皮膚感染症(蜂巣炎、带状疱疹、白癬など)
- 薬疹 ●乾癬

重点を置いている治療・検査

- ダーモスコープによる皮膚腫瘍の術前診断(皮膚がんの手術は形成外科、化学療法は皮膚科で行っています)
- 皮膚潰瘍の原因検索と集学的治療
- 皮膚生検(皮膚を少しだけ切除して顕微鏡で調べる検査)による、腫瘍、炎症性、自己免疫性疾患の診断
- 採血、パッチテストなど皮膚炎、薬アレルギーの原因追求のための検査
- 足の血行障害、神経障害のある方のフットケア
- 水疱症(天疱瘡、類天疱瘡)に対する血漿交換、免疫グロブリン大量療法
- 重症のアレルギーや細菌、ウイルス感染に対する、点滴および入院治療
- 乾癬の飲み薬、注射(生物学的製剤)による治療

県立塚口病院 皮膚科科長

樋上 敦

京都大学医学博士
日本皮膚科学会専門医
日本形成外科学会専門医



県立尼崎病院 皮膚科医長

湊 はる香

県立尼崎病院 専攻医

岡田 佳与

県立塚口病院 皮膚科医長

奥野 愛香

形成外科医は、顔面・皮膚腫瘍・ 創傷(傷や傷跡)を扱うプロです

周産期・小児医療領域における「唇顎口蓋裂」をはじめとする顔面や体表の先天異常の治療や、ER救急領域での「顔面外傷・顔面骨折」の治療を当科が担当します。がん拠点病院として、「皮膚がん」や「乳がん術後の乳房再建」の手術を、また、最近増加傾向のある「眼瞼下垂症」への対応もますます充実させていきます。

形成外科医は、創傷(傷・傷跡)を扱うプロです。傷跡がきれいであることは言うまでもありません。

県立尼崎病院 形成外科科長

山脇 吉朗

京都大学形成外科 非常勤講師 兼 臨床教授
日本形成外科学会 専門医
日本形成外科学会 評議員

形成外科の紹介

形成外科とは、生まれつきの、または、けがや癌などで変形したり失われたりした体の表面や骨(主に顔の骨)の異常を、機能回復のみならず形も正常に近い状態に再建し、QOL(quality of life)の向上に貢献することを専門にする外科系診療科です。

対象とする疾患

●形成外科全般にわたる診療

●特色ある治療:

唇顎口蓋裂など顔面の先天異常、構音障害、顔面骨折、皮膚がん、眼瞼下垂症・内反症、乳房再建(シリコンインプラントの使用も可能)、など

唇顎口蓋裂外来のご紹介

唇顎口蓋裂は、口唇や鼻の変形だけでなく、ことばの障害やかみ合わせの異常など、改善すべき問題が多岐にわたります。本専門外来では、適切な時期に適切な治療を受けていただくことをモットーに、矯正歯科医、言語聴覚士とともに時間をかけて丁寧な診療を行っています。



後列左から：梅原医師、澤良木医師
前列左から：堀尾医師、山脇医師



新病院に向けて

臨床検査部
検査技師長から



リレーメッセージ

～チーム医療の一員として、迅速・正確・安全な検査を目指します～



★ 新病院に向けて、両病院の相違点の洗い出し、そして、理解と統一へ

尼崎病院と塚口病院での診療科の違いなどにより、両病院で実施している検査の項目、方法、正常値などいくつかの相違点があります。尼崎病院・塚口病院それぞれの特徴を活かした検査項目も多くあり、それぞれの項目の相違点を理解し、統合に向けて統一する必要があります。

検査部門では、統合が決まった時から職員の相互研修を長期に渡り実施し、新病院が開院したその日から、混乱なく対応できるよう準備してきました。医師のオーダーに応えられるよう、患者さまの診断に役立つよう、迅速に正確に検査を実施します。



県立尼崎病院 臨床検査部
検査技師長 石橋万亀朗

★ 新病院にて、高度専門医療や救急医療を 実践するために…

新病院は、高度専門医療を実践する病院となります。それに備え、遺伝子検査の導入、フローサイトメーターの導入などにより、腫瘍診断に必要な検査も即日報告を目指しています。

救急も充実した病院となりますので、24時間365日体制で迅速・正確・安全な検査を目指します。



県立塚口病院 臨床検査部
検査技師長 林 隆雄



次号予告

次号は、
「県立尼崎病院 リハビリテーション科 主任理学療法士 山田典夫」と
「県立塚口病院 リハビリテーション科 課長補佐 細川泰徳」
からのメッセージです。

セミナーのご案内

市民健康公開講座 市民すこやかセミナー

第51回すこやかセミナー

【テーマ】

「白内障、眼瞼下垂について」

かすみ目・さがり目、それって、疲れ？ 老化？ 病気？ ▶講師：県立塚口病院 眼科医師 竹谷 太

【日時】平成27年3月6日(金曜日) 午後2時～3時30分

【場所】フェスタ立花 すこやかプラザ(JR立花駅南側すぐ) 参加費:無料(予約不要)

★お問い合わせは、塚口病院 地域医療連携室 ☎06-6429-5321(代表)へ

多くの方の
ご参加を!



お知らせ

兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)
Facebook ページを開設しています。

兵庫県立尼崎総合医療センター フェイスブック

検索



Find us on
Facebook



してね!





病院生活から、 住み慣れた地域での生活へ

地域包括
ケアシステム

▼ かかりつけ医をお持ちですか？ ▼

尼崎病院・塚口病院の診察室で、こんな会話が…？

当院医師A：「あなたのかかりつけの先生は、誰ですか？」
患者さんA：「塚口病院 ×△×科の○○先生です。」
当院医師B：「普段は、風邪をひいたらどこのかかりつけの診療所ですか？」
患者さんB：「いつもおおきな尼崎病院です。ここが、近いんです！」



これで、いいので
しょうか？

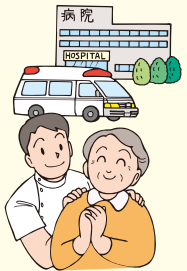
▶ 尼崎病院、塚口病院、そして、新病院は、「かかりつけの医療機関」ではありません！

かかり
つけ医
とは…

1. みなさんの身近にいて、具合が悪くなった時や病気の相談時に、いつも親身に診てもらう。
2. みなさんの日頃の体調や生活環境をよく把握して、適切な指示を生活基盤内でおこなえる。
3. 必要な時には、適切な医療機関へ紹介したり、病院からの逆紹介を受け入れたり、**地域内にて役割(医療介護連携)を担える。**

地域内医療機関は、それぞれの診療機能に応じて役割分担することが求められています。

県立尼崎総合医療センターは、**地域医療機関からの紹介による救命救急や高度専門医療を提供する高度急性期病院**としての役割を担っています。反対に、当院での治療が終了した患者さまや症状が安定した患者さまには、地域のかかりつけ医へ逆紹介させていただいています。



▶ 地域の医療・介護施設で、包括的な 高度医療や生活支援サービスを提供。

超高齢化社会をむかえ、国は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができることを目指しています。そのために、地域内の複数医療・介護施設が役割分担をおこない協同で、地域で医療や介護における包括的な支援・サービス提供体制(**地域包括ケアシステム**)の構築を推進しています。



▶ 病院では、「かかりつけ医探し」のお手伝いをさせていただきます。

まだかかりつけ医をお持ちでない方は、ぜひ、統合新病院への移転をきっかけにかかりつけ医を探してみてください。また、両病院の地域医療連携室(センター)でもお手伝いさせていただきます。

編集後記

節分といえば、豆まき、恵方巻きを連想します。恵方というのは、歳徳神が居る方位を言います。今年の恵方は、西南西です。節分・お水取りが過ぎ暦の上では、「春」になりますが、まだまだ寒い日が続きます。そして、寒さが和らぎ、インフルエンザ流行が下火になり始めると、次は花粉症の季節です。春を実感するには少し先になりますが、季節の変わり目、体調に気をつけてお過ごし下さい。
(塚口病院 S.N)



兵庫県立尼崎病院

〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号
TEL 06-6482-1521(代表) FAX 06-6482-7430
<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎病院

検索



兵庫県立塚口病院

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目8番17号
TEL 06-6429-5321(代表) FAX 06-6422-7405
<http://www.tsukaguchi-hospital.net/index.html>

兵庫県立塚口病院

検索